

季刊せいてん第120号 平成29年 9月1日発行(3・6・9・12月 各1日発行)

季刊せいてんno.120

2017 秋の号

●浄土真宗聖典の学習誌●

特集

あわてないための
「大乘非仏説」入門



真宗〈悪人〉伝／顕如と教如(上) 幸せってなんだろう／自分らしさ
『歎異抄』／第10条 「正信偈」／善導大師② もう1人の「親鸞」／伝道者

NO.120

季刊

せいてん

2017.9.1 (秋の号)

特集

あわてないための「大乘非仏説」入門

「仏説」とは何か—古代インドの大乘仏説論に学ぶ …… 藤田祥道 3
天才・富永仲基—江戸時代の大乘非仏説論ほか …… 早島 慧ほか 6,44

はじめの一步Ⅰ

真宗〈悪人〉伝⑨

顕如と教如(上) …… 井上見淳 9

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学③

自分らしさ …… 藤丸智雄 16

聖典セミナー

『歎異抄』⑪ 第十条 一無義をもつて義とす …… 矢田了章 22

せいてん誌上講演

「正信偈」⑲ 善導大師(2) 無量寿仏の名をたもて …… 梯 實圓 30

もう1人の「親鸞」③

「伝道者としての親鸞聖人」 …… 黒田義道 40

おてらカメラ ① **新連載**

「お寺の外観を撮ろう」 …… 中西康雄 54

法語随想 悲しみとともに③

「しかれば、大悲の願船に乗じて……」 …… 溪 宏道 56

読者のページ せいてん質問箱 **新連載**

本願寺の「菊花展」はいつからはじまったの? …… 大原実代子 58

人ひとみな いろ、といろ③

「お浄土って何色?」 …… とよだまりさ 63

お寺はいま 兵庫県尼崎市・西正寺

出会いの場としてのお寺 …… 64

西の空 心に響くことば

大きな手 …… 榎本栄一 67

文中写真 / 編集室

お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

幸せってなんだろう

—悪人正機の倫理学—

第3回 「自分らしさ」

ふじまる とも お
総合研究所副所長 **藤丸 智雄**



若い頃、「自分らしさ」で
悩んだ記憶があります。が、
現在の若者も「自分らしさ」
について真剣に悩んでいま
す。若者の永遠の課題なの
でしょうか。

ただ、この「自分らしさ」
は、若者だけの課題でなく、
倫理思想の上でも、重要な
テーマになってきました。
今回は、この「自分らしさ」
について倫理的な視点から
考えてみようと思います。

(イラスト 瓜生智子)



意見が分かれな

「自分らしさ」アンケート

第一回でも紹介しましたが、私は大学で倫理の授業を担当し、学生さんの意見を聞きながら講義を進めています。その質問の一つに「自分らしさは大切だと思いますか？」があります。

色んな質問をするのですが、この質問だけ意見が分かれません。ほぼ百パーセントの学生が「大切」と答えます。理由は以下の通り。

- ・ 他人と同じでは意味がない
- ・ 新しいアイディアが生まれる
- ・ 好きになってもらえるために
- ・ 認めてもらえるためのもの
- ・ かけがえのない存在であるために

二十歳前後の若者が、どんな風に「自分らしさ」について考えているか実感していただけたと思います。

ただ、百人に一人くらい、「大切にない」と答える学生さんもあります。その理由は、たいてい「自分らしさは疲れる」というものです。少数意見ですが、付記しておきたいと思います。

この「自分らしさ」という価値は、遠く古代ギリシャの倫理思想にも遡ることができません。

人間らしさとは

「理性」による生き方

第一回（本誌118号）にも登場したアリストテレスは、存在を「目的論的」に理解しました。「的」が二回も出てきて分かりにくいのです

が、分かりやすく言えば、どんな存在にも固有の目的があるということです。まだ分かりにくいですね。それでは喩えを出しましょう。

たとえば、蝶はストロー状の口と美しい羽根を持っています。そして、空を舞い、花を見つけ蜜を吸って生きていきます。ただ、卵や幼虫の時から空を飛べるわけではありません。成長し成虫となることで、美しい蝶の姿となります。つまり、完成された姿は目的があり、それに向かって卵↓幼虫↓さなぎ↓成虫と成長していくわけです。このように、あらゆる存在は、潜在的な資質を開花させるといふ目的を持つとアリストテレスは考えました。ですから、あらゆる存在は、「資質を開花させる」目的を持って生きることができるとです。



そうなる、人間は、人間に固有の目的、つまり「人間らしさ」という目的を持ち、それを完成させることが人生を全うするというようになります。では人間らしさとは何なのでしょう。アリストテレスは、それを「理性」と考えました。確かに、動物は本能で生き、人間は理性を用いて行動しています。ですから、「最善の人生は理性の活動を主体とする」「生涯を通じての理性の使用をともなった優れた活動」が「生きがいのある人生」＝「幸福」であるとアリストテレスは説明します。

「理性」の意味については「快樂」の回で考えることにして、今回は少し先を急ぐことにしましょう。

「人間らしさ」から「自分らしさ」へ

この「人間らしさ」という考え方を展開させると、おのずと「自分らしさ」に行き着きます。アリストテレスも、「善とは何らか本人に固有な、取り去ることのむずかしいものではなくてはならない」と言いました。それぞれが完成すべき固有の目的があつて存在しているとすれば、人間という種類だけでなく、一人ひとりに固有の目的があるはずで、それを発揮すべきと考えたのです。

話は逸れますが、「ギリシャ」という言葉から何をイメージしますか？学生に聞くと、「オリンピック」「ギリシャ彫刻」という意見が多く出てきます。この二つは、どちらも

肉体の鍛錬に関係していますよね。歴史の教科書に出てくるギリシャ彫刻を見て、なぜムキムキ？と不思議に思った方もいらっしゃるでしょう。実は、肉体を鍛えようとする背景に、自分の資質を最大限発揮するという考え方があるのです。

閑話休題——以上をまとめると、他人にない「自分らしさ」を見つけ、それを磨き発揮することが生きるべき道（善）であり、そのことによつて、生きがいのある人生、価値ある人生になるということになります。

どうですか、皆さん。アリストテレスも「自分らしさ」を重視し、学生たちも重視する。やはり、「自分らしさ」は普遍的な価値なのでしょいか……ただ、仏典では「自分らしさ」が強調されることはあまりありません。

季刊せいてん

バックナンバーのご案内 (在庫分)

117号(冬の号) 2016年12月1日

- はじめの一步Ⅰ
真宗(悪人)伝⑥(井上見淳)
「慈信房善鸞(下)」
- はじめの一步Ⅱ
「物語」で読み解く仏教(終)(野呂靖)
「一生不犯 その二」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑧(矢田了章)
「第七条一念仏者は無礙の一道」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑯(梯實圓)
「道綽禪師(1)末法を生きる」
- 和讃で学ぶ浄土真宗(終)
「念仏者の生活」(佐々木隆晃)



表紙 ●特集「私の名著」より

◆『季刊せいてん』バックナンバーのご案内(在庫分)



表紙 ●特集「仏教説話」②より

- はじめの一步Ⅰ
戦国時代の本願寺③(金龍静)
「証如上人と本願寺」
- はじめの一步Ⅱ
「物語」で読み解く仏教⑤(野呂靖)
「六道之沙汰」
- 聖典セミナー
「歎異抄」①(矢田了章)
「前序」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑨(梯實圓)
「お念仏の道を伝えた高僧たち」
- 和讃で学ぶ浄土真宗①
「人間のすがた」(佐々木隆晃)

110号(春の号) 2015年3月1日

118号(春の号) 2017年3月1日

- はじめの一步Ⅰ
真宗(悪人)伝⑦(井上見淳)
「唯善(上)」
- はじめの一步Ⅱ
幸せてなんだろう①(藤丸智雄)
「ちよい悪がなぜモテるのか?」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑨(矢田了章)
「第八条一念仏は非行非善」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑫(梯實圓)
「道綽禪師(2)救われない理由」
- もう1人の「親鸞」
「親鸞聖人ご出家の物語」(黒田義道)



表紙 ●特集「西方指南抄」ガイドより



表紙 ●特集「お仏華を知ろう」より

- はじめの一步Ⅰ
戦国時代の本願寺(終)(金龍静)
「顕如上人と本願寺」
- はじめの一步Ⅱ
「物語」で読み解く仏教⑥(野呂靖)
「妖怪と仏教」
- 聖典セミナー
「歎異抄」②(矢田了章)
「第一条」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑩(梯實圓)
「龍樹菩薩(1)大乘の巨人」
- 和讃で学ぶ浄土真宗②
「阿弥陀仏」(佐々木隆晃)

111号(夏の号) 2015年6月1日

●これまでの主な特集記事●

- No.100……100号記念 勸学和上に聞く
①聖教の真实性と布教伝道について 梯實圓
②聖典編纂事業と『季刊せいてん』
徳永一・内藤知康・佐々木恵精
- No.101……ヴィジュアル大乘仏教～北伝仏教の旅～
- No.102……飛雲閣と聚楽第一聚落第の遺構が否か
- No.109・110……仏教説話と譬喩に学ぶ①②
- No.111……お仏華を知ろう
- No.115……しなやかにつながる仏事

*「季刊せいてん」誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは
本願寺出版社

☎ 0120-464-583
FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
1冊700円(税・送料込)
商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくは
コンビニエンスストアで料金を払い込みください。



表紙 ●特集「しなやかにつながる仏事」より

- はじめの一步Ⅰ
真宗(悪人)伝④(井上見淳)
「熊谷直実」
- はじめの一步Ⅱ
「物語」で読み解く仏教⑩(野呂靖)
「植物と成仏 その二」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑥(矢田了章)
「第五条」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑬(梯實圓)
「曇鸞大師(1)大乘仏教の極致」
- 和讃で学ぶ浄土真宗⑥
「信心」(佐々木隆晃)

115号(夏の号) 2016年6月1日



表紙 ●特集「伝統とその由来」より

- はじめの一步Ⅰ
真宗(悪人)伝⑤(井上見淳)
「慈信房善鸞(上)」
- はじめの一步Ⅱ
「物語」で読み解く仏教⑪(野呂靖)
「一生不犯 その一」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑦(矢田了章)
「第六条一弟子一人ももたず」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑮(梯實圓)
「曇鸞大師(2)他力のこころ」
- 和讃で学ぶ浄土真宗⑦
「念仏者の利益」(佐々木隆晃)

116号(秋の号) 2016年9月1日

季刊せいてん 定期購読のご案内

*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円 (税・送料込み)

▲年4回 (3・6・9・12の各月) 発行

*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円 (税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、
部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

・お申し込み・お問い合わせは↓

本願寺出版社  0120-464-583 FAX 075-341-7753
よむよ ごわさん

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

編 集 後 記

◆新連載「おてらカメラ」を企画した理由の一つに、お寺の活性化に役立ちたいとの思いがありました。ですので、お寺写真を撮影したら、寺報、HP、SNSに写真を載せていただきたいと思っています。またご門徒さんがお寺を撮影をすることによって、ご自分のお寺に愛着を持つことにもつながるのでは、とも期待しています。どんどんお寺を撮影しましょう！

◆本誌講座(60頁)での井上先生のお話に対して、「迫力があつた」という感想が聞かれました。私も感じたその迫力、それはおそらく井上先生の「本気さ」によるものだと思います。先生が本気で教えに向き合っているからこそ伝わる「迫力」や「熱さ」。「本気」にまさるものはない、と感じた夜でした。(D)

◆「大乘非仏説」論は決してタブーのようなものではありません。

ん。仏教の豊かな歴史を通じて、ご本願が私にとってまことの仏説であることの意味を見つめ直す大切なご縁となるはずです。気鋭の執筆陣でお届けします！

◆そして〈悪人〉伝は今号から、東西分立に至る本願寺の物語を三話連続の大スケールでお送りします。こちらも必見！(N)

◆「お寺はいま」の取材中、参加の方が、「お寺には〈ごまめ力〉がある」と言われていました。「ごまめ力」とは、弱い立場にある方を見守る力のことです。大阪には、子どもが遊ぶ時に、「あの子はごまめ(小魚のこと)やさかい」と言って、上の子が下の子を大目に見るルールがあるとのこと。そういえば「テラハ。」の会場で、小さな女の子がぐずって泣き出す一幕がありました。その場には女の子を見守る温かな空気が漂っていました。(Y)

投稿募集

◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのお便りをお待ちしております。

◆あて先は、「〒600-8349 京都市下京区堺町92番地 浄土真宗本願寺派伝道第3本部 総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

季刊せいてん

NO.120 平成29(2017)年9月1日発行

編 集

浄土真宗本願寺派
総合研究所

〒600-8349

京都市下京区堺町92番地

発 行

本願寺出版社

(浄土真宗本願寺派)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺門前町60番地

電話 075-371-4171